

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32213	道後温泉活性化事業	産業経済部	道後温泉事務所	2
32213	道後温泉地域振興事業補助事業	産業経済部	道後温泉事務所	3
32213	道後村まつり事業補助事業	産業経済部	道後温泉事務所	4
32221	浴場管理事業	産業経済部	道後温泉事務所	5
32221	物品販売事業	産業経済部	道後温泉事務所	6
32221	源泉管理事業	産業経済部	道後温泉事務所	7
32221	源泉井戸及び分湯場施設改修事業	産業経済部	道後温泉事務所	8
44121	道後温泉本館保存修理寄附推進事業	産業経済部	道後温泉事務所	9
44121	道後温泉本館保存修理事業	産業経済部	道後温泉事務所	10

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉活性化担当	連絡先	921-0101
------	-------	-----	---------	-----	-----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉活性化事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32213								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(実施プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				○	○	○	○
施策	観光産業の振興			根拠法令	道後温泉活性化計画他			
主な取組	観光都市としての魅力向上							
取組みの柱	道後温泉地域の活性化							
目的・背景	目的:地域間競争の激化による観光客の減少を踏まえ、令和6年7月の本館全館営業再開を好機と捉え、更なる道後温泉地区の活性化を図る取り組みを行う。 背景:地域間競争の激化。							
対象・内容	・道後温泉本館改築130周年・工事完了記念事業実行委員会へ負担金を拠出し、本館改築130周年と本館保存修理工事完了が重なる令和6年の節目の年を絶好の機会と捉え、様々な関連事業を切れ目なく実施することで、市民の本市及び道後温泉本館への誇り、愛着の醸成につながることも、広く道後温泉の魅力発信して更なる誘客及び創客を推進し、道後温泉本館を持続可能な施設として発展させる。 ・地元団体(道後温泉旅館協同組合・道後商店街振興組合・道後温泉誇れるまちづくり推進協議会)に「道後温泉活性化まちづくり促進補助金」「伊佐庭如矢顕彰事業」などを通して補助金や負担金を交付し、道後温泉の賑わい創出を図る。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	負担金(道後温泉本館改築130周年・工事完了記念事業負担金等)		34,318
予算(千円)	事業費計	158,531	64,619	61,067			委託料(公式サイト多言語対応業務委託等)		13,063
	国費・県費	58,500	2,000	22,650			需用費(ガイドマップなどの印刷製本費等)		3,637
	市債								
	その他	60,000		20,570					
	一般財源	40,031	62,619	17,847					
決算(千円)	事業費計	148,531	56,102			主な取組内容【R6】	・道後温泉本館改築130周年・工事完了記念事業 道後温泉本館の全館営業再開に合わせて記念式典の開催、ポスターの制作、工事関係者への感謝状の贈呈等を実施した。 ・多言語対応(英・韓・繁体・簡体)した公式サイトやガイドマップを整備し、需要が高まっているインバウンドの受け入れ環境の充実を図った。		
	国費・県費	39,727	0						
	市債								
	その他	61,500							
	一般財源	47,304	56,102						
	(執行率)	94%	87%						
人役	正規職員	5.0	5.0	5.0		特記事項			
	その他			2.0					
	合計	5.0	5.0	7.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	イベント・企画(実施数)	目標	—	20	20	20	道後温泉地区の魅力向上のため、活性化に関するイベント・企画を適切に実施できている。	
		実績	62	30				
成果指標	道後地区の宿泊者数	目標	800,000	800,000	800,000	800,000	道後温泉地区の魅力高め、話題性や賑わいの創出に努めた結果、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	
		実績	776,087	782,096				
		単年で増	人	97%	98%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	平成24年度より事業を予算化し、「道後温泉活性化計画」などに基づいて道後温泉地区への誘客に取り組み、本市観光客数の増加に努めている。時期を逸することなく各種プロジェクトやアート作品展示などを実施し、道後温泉本館保存修理工事の観光資源化、道後温泉地区の魅力創出、関係人口拡大の取組などを積極的に進めることができた。						
課題	インバウンドを含む観光需要が高まる中、観光地の地域間競争が激しくなる。			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	引き続き、道後温泉ならではの魅力づくりや話題性の創出に取り組み、道後温泉地区の賑わいを生み出し、本市や道後への誘客につなげるため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	907-5554
------	-------	-----	---------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉地域振興事業補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32213								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興			-	-	-	-	
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令	松山市補助金等交付規則、道後温泉地域振興事業補助金交付要綱				
取組みの柱	道後温泉地域の活性化							
目的・背景	<p>目的:道後温泉振興事業にかかる初子祭に対して、補助金を支出し、道後温泉及び道後地区の発展と活性化を図るとともに、市民や観光客に憩いの場を提供するため。</p> <p>背景:道後を代表する伝統行事である初子祭を保存・継承していくとともに、道後温泉の活性化を図るため。</p>							
対象・内容	道後温泉地域振興会に対して補助を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	総務管理費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	補助金		450	
予算(千円)	事業費計	450	450	450						
	国費・県費									
	市債									
	その他	450	450	450						
一般財源										
決算(千円)	事業費計	450	450			主な取組内容【R6】	道後温泉地域振興事業補助金の交付			
	国費・県費									
	市債									
	その他	65	450							
	一般財源	385								
(執行率)	100%	100%								
人役	正規職員	1.0	1.0	2.0		特記事項	特になし			
	その他	1.0	1.0	0.0						
	合計	2.0	2.0	2.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	参加人数	目標	5,000	5,000	8,000	8,000	初子祭が開催され、地域住民や市民、観光客の方々が多く参加されたため	
		実績	10,000	17,000				
	単年で増	人	達成率	200%	340%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	道後地域の活性化及び観光客の誘致、また、地域住民や松山市民の憩いの場を提供することができたため。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	道後温泉地域の伝統行事を保存、継承するため	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	907-5554
------	-------	-----	---------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道後村まつり事業補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32213								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興			-	-	-	-	
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令	松山市補助金交付規則、道後村まつり事業補助事業補助金交付要綱				
取組みの柱	道後温泉地域の活性化							
目的・背景	目的:道後夜市等を開催する道後村まつり事業に対して、補助金を支出し、道後温泉及び道後地域の発展及び活性化を図るとともに、市民及び観光客に憩いの場を提供するため。 背景:道後夜市等が開催される道後村まつりを通じて、行政と道後地域住民が一体となって道後温泉の活性化を図るため。							
対象・内容	道後村まつり実行委員会に対して、補助を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	総務管理費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	補助金		230	
予算(千円)	事業費計	230	230	230						
	国費・県費									
	市債									
	その他	230	230	230						
	一般財源									
決算(千円)	事業費計	230	230			主な取組内容【R6】	道後村まつりの補助金の交付			
	国費・県費									
	市債									
	その他	33	230							
	一般財源	197								
	(執行率)	100%	100%							
人役	正規職員	1.0	1.0	2.0		特記事項	特になし			
	その他	1.0	1.0	0.0						
	合計	2.0	2.0	2.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	村まつり開催時の商店街利用者数	目標	5,000	5,000	8,000	8,000	道後村まつりが開催され、地域住民や市民、観光客の方々が多く参加されたため	
		実績	9,000	10,000				
	単年で増	人	達成率	180%	200%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	道後地域の活性化及び観光客の誘致、また、地域住民や松山市民の憩いの場を提供することができたため						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	道後温泉地域の伝統行事を保存、継承するため	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	907-5554
------	-------	-----	---------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	浴場管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		-	-	-	-	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	松山市道後温泉事業施設の設置及び管理に関する条例				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	目的:道後温泉本館などの効率的な運営を行うとともに、来館者が気持ちよく施設を利用できる環境を整える。 背景:道後温泉本館など公営公衆浴場を財産区から松山市に編入し運営している。						
対象・内容	道後温泉の利用者に対し、入浴などのサービスを提供する。効率的な運営を図るため、道後温泉本館・飛鳥乃湯泉・椿の湯の運営は、指定管理者制度を導入している。 入浴用物品、チケットの印刷等、施設利用者にサービスを提供するための事業を実施。道後温泉本館・飛鳥乃湯泉・椿の湯は道後温泉コンソーシアムに指定管理料を支出。						

2. 事業実施【Do】

		会計	道後温泉特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	浴場管理費		
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	道後温泉事業施設の管理に係る指定管理業務委託		611,524		
予算(千円)	事業費計	531,700	756,007	880,221			主な取組内容【R6】	光熱水費		53,514	
	国費・県費							道後温泉本館管理業務委託			
	市債										
	その他	531,700	756,007	880,221							28,700
一般財源											
決算(千円)	事業費計	474,320	738,924			特記事項	道後温泉3館の効率的な運営に取り組む。道後温泉本館全館営業再開に伴う必要物品等の調達や、施設の営繕工事などを行う。				
	国費・県費										
	市債										
	その他	474,320	738,924								
	一般財源										
	(執行率)	89%	98%								
人役	正規職員	6.0	6.0	6.0							
	その他	1.0	2.0	0.0							
	合計	7.0	8.0	6.0							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	浴場使用料	目標	342,400	766,277	833,033	823,750	道後温泉本館の全館営業再開に伴い貸切室の利用開始等を行い、来館者の満足度の向上に努めたため		
		実績	412,409	738,924					
	単年で増	円	達成率	120%	96%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後温泉本館の全館営業を再開し、3館の周遊を促し来館者の満足度の向上に努めた。							
課題	道後温泉3館のサービス向上や3館の周遊策の強化が必要			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和6年7月11日より3館あわせて指定管理者制度を導入したため		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	907-5554
------	-------	-----	---------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	物品販売事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興		-	-	-	-	
主な取組	受入体制の整備	根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	目的:道後温泉本館の入浴客に対するサービスとして、タオルや石鹸等の入浴用品を販売し、満足度向上を図るとともに収益を上げるため。背景:入浴客のニーズに対応したサービス提供及び入浴記念としての商品販売を開始した。						
対象・内容	入浴客向けに売店商品を販売するために、売店商品の仕入れを行う。						

2.事業実施【Do】

		会計	道後温泉特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	浴場管理費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	消耗品費(売店商品の仕入れ)		1,407
予算(千円)	事業費計	12,271	16,298	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他	12,271	16,298	0					
一般財源									
決算(千円)	事業費計	11,559	13,168			主な取組内容【R6】	タオル、石鹸等の入浴用品を仕入・販売する(R6.4~7)		
	国費・県費								
	市債								
	その他	11,559	13,168						
	一般財源								
(執行率)	94%	81%							
人役	正規職員	2.0	2.0	0.0		特記事項			
	その他	1.0	1.0	0.0					
	合計	3.0	3.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	売店売上金(本館)	目標	11,700	20,711	-	-	令和6年7月から売店商品の仕入・販売は指定管理者の自主事業に移行したため。		
		実績	23,393	13,168					
	単年で増	円	達成率	200%	64%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後温泉本館内売店等で入浴用品を販売するほか、みかん石けんなど本館オリジナル商品を販売し、道後温泉ブランドのPRに努めた。							
課題	特になし			今後の方向性	事業終期到来	左記の理由	令和6年7月11日より指定管理者制度を導入し、令和6年7月から売店商品の仕入・販売は指定管理者の自主事業に移行したため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉施設管理担当	連絡先	921-5151
------	-------	-----	---------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	源泉管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
32221								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興			-	-	-	-	
主な取組	受入体制の整備		根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの場の充実							
目的・背景	目的:道後温泉に来られた市民や観光客の方々へ心地よく利用していただくため、源泉の安定供給が出来るよう源泉設備を整備すること。 背景:道後温泉本館など公営公衆浴場を財産区から松山市に編入し運営している。							
対象・内容	既存源泉18カ所及び既設分湯場の4カ所を対象として、安定的な源泉管理及び維持管理を図る。 道後温泉資源量調査及び湯設備点検の委託費を支出 そのほか源泉管理に必要な修繕に工事請負費を支出							

2. 事業実施【Do】

		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	施設整備費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	光熱水費		15,091
予算(千円)	事業費計	48,840	42,676	46,136			委託料		8,320
	国費・県費						工事請負費		2,131
	市債								
	その他	48,840	42,676	46,136					
一般財源					主な取組内容【R6】	内湯へ安定的に源泉を供給するために18カ所ある源泉の延命化と維持管理及び突発的な修繕対応など			
事業費計	31,884	27,381							
国費・県費									
市債									
その他	31,884	27,381							
一般財源					特記事項				
(執行率)	65%	64%							
人役	正規職員	4.0	4.0	4.0					
	その他								
	合計	4.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	設備の点検実施回数(委託による総点検を年2回、汽缶士による日々の簡易点検を365日実施)	目標	2(365)	2(365)	2(365)	2(365)	委託による点検及び日々の簡易点検ともに予定通り実施し、予防保全に努めた。	
		実績	2(365)	2(365)				
	単年で増	回	達成率	100%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	設備の突発的な故障に対処し、突発故障を極力抑えるために、予防保全を計画的に実施することで、源泉の安定供給につながった。						
課題	源泉井戸及び分湯場施設改修事業で予防保全的な設備更新を実施し、突発的な費用の縮減につなげる。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	源泉の安定供給を行うために突発的な修繕は少なからず発生するため、現行のまま計画を維持し、費用縮減に努める。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉施設管理担当	連絡先	921-5151
------	-------	-----	---------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	源泉井戸及び分湯場施設改修事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
32221								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興			-	-	-	-	
主な取組	受入体制の整備		根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの場の充実							
目的・背景	<p>目的:老朽化している源泉井戸及び分湯場を順次改修することにより、温泉の揚湯量を確保すること。 背景:平成20年度に「道後温泉源泉井戸及び配湯施設改良基本計画」10カ年分を策定、令和2年度に、「道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修実施計画」12カ年分を策定し、老朽化した源泉や分湯場の改修を計画的にすすめている。</p>							
対象・内容	<p>既存源泉18カ所及び既設分湯場の4カ所を対象として、安定的な源泉管理及び維持管理を図る。 そのほか源泉管理に必要な修繕に工事請負費を支出</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	源泉管理事業
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	工事請負費		45,501
予算(千円)	事業費計	12,000	47,900	23,300					
	国費・県費								
	市債								
	その他	12,000	47,900	23,300					
一般財源									
決算(千円)	事業費計	5,329	45,501			主な取組内容【R6】	道後温泉第2分湯場受水槽取替、第29号源泉ほか温泉用深井戸水中ポンプ取替や分湯場の機器類の更新を実施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	5,329	45,501						
	一般財源								
(執行率)	44%	95%							
人役	正規職員	4.0	4.0	4.0		特記事項			
	その他								
	合計	4.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和13年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修	目標		2	5	5	22	予定していた工事は完了することができた。	
		実績		2	5				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後温泉第2分湯場受水槽取替工事など、当初予定していた工事について、完了することができた。							
課題	物価高騰や設備の突発故障などで一部計画と乖離が出てきている。			今後の方向性	見直しを検討	左記の理由	改修実施計画について、見直しを行うため		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	907-5554
------	-------	-----	---------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉本館保存修理寄附推進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
44121								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む							
施策	文化遺産の継承			-	-	-	-	
主な取組	道後温泉本館の保存修理		根拠法令					
取組みの柱	道後温泉本館保存修理							
目的・背景	<p>目的:道後温泉本館保存修理工事に要する経費について、市内外に広く寄附を募り、本市が誇る国の重要文化財を未来に遺す機運の醸成を図る。 背景:平成31年1月以降より、準備が整い次第着手される道後温泉本館保存修理工事に要する一般会計負担見込額の部分的な軽減を図るとともに、工事期間中に遠隔地からの誘客促進を図る必要があることから開始した。</p>							
対象・内容	<p>道後温泉本館保存に賛同していただける市内外の方を対象に寄附を募る。 ふるさと納税とクラウドファンディングを活用し、市内外に広く寄附を募るとともに、返礼品として、入浴優待券や道後温泉地区の旅館・ホテルの宿泊券等を進呈することで、誘客や地域経済の活性化につなげていく。また、工事の進捗などの情報発信を行う。</p>							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	バウチャー券支払い		160
予算(千円)	事業費計	4,977	500	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,977	500	0					
決算(千円)	事業費計	921	160			主な取組内容【R6】	返礼品として提供を行っていたホテル、旅館等のバウチャー券や旅行企画商品のバウチャー券の精算		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	921	160						
	(執行率)	19%	32%						
人役	正規職員	2.0	1.0	0.0		特記事項			
	その他	2.0	1.0	0.0					
	合計	4.0	2.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	寄附額	目標	5,000	-	-	-	-		
		実績	4,893	-	-	-			
	現状維持	円	達成率	98%	-	-	-		
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	クラウドファンディングが終了し、令和5年度に寄附いただいた方に、返礼品として提供を行っていたホテル、旅館等のバウチャー券や旅行企画商品のバウチャー券の精算を適正に対応した。							
課題	令和6年度に保存修理工事が完了し、クラウドファンディングを終了したため課題はない。			今後の方向性	事業終期到来	左記の理由	令和6年度に保存修理工事が完了したため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉施設管理担当	連絡先	921-5151
------	-------	-----	---------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉本館保存修理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
44121							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む						
施策	文化遺産の継承		-	-	○	-	
主な取組	道後温泉本館の保存修理	根拠法令					
取組みの柱	道後温泉本館保存修理						
目的・背景	目的:重要文化財道後温泉本館は、改築から120年以上経過し、老朽化、耐震性が懸念されることから、その文化財的価値を維持・継承するため、耐震補強・保存修理工事をなもの。 背景:松山市道後温泉活性化審議会を平成24年5月に設置、また工事中の経済的影響が懸念されることから、平成26年度から文化財や耐震設計に精通した学識経験者を保存修復専門委員に選任し、地盤調査や建物調査の詳細設計を実施するとともに、最新の解析技術を活用した精度の高い耐震補強設計を検討してきた。						
対象・内容	平成31年1月15日から営業しながらの道後温泉本館保存修理工事に着手し、令和6年12月20日に工事完了。総事業費約26億円。 令和6年度は後期工事として、神の湯本館3階個室の漆工事等を実施。 工事の請負業者である門屋組・成武建設・富士造型特定建設工事共同企業体に対して、道後温泉本館保存修理工事の工事請負費を支出。 監理委託している公益財団法人文化財建造物保存技術協会に対して、保存修理工事の監理委託料を支出。 令和5年度から令和6年度にかけて道後温泉本館保存活用計画策定業務委託を公益財団法人文化財建造物保存技術協会と契約。						

2.事業実施【Do】

		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	施設整備費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	579,208	404,516	0		主な経費 (千円) 【R6 決算】	工事請負費		290,093
	国費・県費	233,500	143,527					委託料	102,482
	市債	74,200	24,800						
	その他	271,508	236,189						
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	539,938	392,854			主な取組 内容 【R6】	神の湯本館3階個室の漆工事や本館内の家具設置工事等を実施。 昨年度に続き、工事監理業務委託や道後温泉本館保存活用計画策定業務委託を実施。		
	国費・県費	225,906	147,624						
	市債	64,200	24,800						
	その他	249,832	220,430						
	一般財源								
(執行率)	93%	97%							
人役	正規職員	4.0	4.0			特記事項			
	その他								
	合計	4.0	4.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	道後温泉本館保存修理工事進捗率	目標	70	100	-	-	平成31年1月15日から着手した道後温泉本館保存修理工事は、概ね計画通り進み、令和6年12月20日に工事完了を迎えた。	
		実績	87.2	100				
	累計で増	%	達成率	125%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	保存修理工事は、工程通り進めることができ、令和6年12月20日に完了を迎えることができた。						
課題	保存活用計画等に基づき、引き続き、適切な重要文化財の管理に努める			今後の方向性	事業終期到来	左記の理由	保存修理工事完了のため	